

慶應讃歌

平岡義一 作詞作曲

一、光あふるゝ三田の山
我等が校庭に集いたる
希望に充ちし若人は
独立自尊の城南健児
我等が若き力以て
理想の祖国を打建てん
慶應 慶應 慶應義塾
その名讃えん我が母校

二、栄えに輝く三田の山
意気と力と熱情の
血潮に燃ゆる男の子等が
今ぞ戴く覇権の冠
かがり火映ゆる丘の上
凱歌を挙げん高らかに
慶應 慶應 慶應義塾
いざや讃えん我が母校

三、あゝ美しき三田の山
第二の故郷三田の山
共にむつみし幾年は
心に永くとどまらん
月去り星は移るとも
夢に忘れぬその名こそ
慶應 慶應 慶應義塾
永遠に讃えん我が母校

振り返る10年。そして次の10年へ

今大会は、65・75・85・95・05年
卒生が担当となり、2年の準備期間
を経て開催に漕ぎつけました。そこで、
新卒生を除く同じ年度が10年前に
担当した1995年大会から昨年まで、
各年のテーマや開催内容を振り返
ってみました。今大会のプログラムは、

それぞれのページコピーを担当部
会が分担して考えました。例年のプ
ログラムも、それぞれの担当年メン
バーの工夫が感じられますね。
さて、2006年はどんな大会になる
のでしょうか。そして2015年大会は？



1995

「Catch the new wave 新しい時代の
鐘がひびくよ」

テーマは「丘の上」の一節。マルチメディアを利用し
て日吉・NYを結んだ。森本毅郎を中心にトークショー。
TOKIOやEAST END+YURIが若者を魅了。



1996

「樹てんかなこの旗を 集わんかな三色
旗のもとに!」

テーマは塾歌の一節。コンサートは羽田健太郎、サー
カス、ダ・カーポ、中村雅俊。日野皓正とライト・ミュー
ジック・ソサイエティの共演も。



1997

「青春ブルー、情熱レッド～若き血誕生
70年」

「若き血」誕生70年を祝った。山下洋輔がジャズを、
西田ひかるや小椋佳が歌声を披露。屋外ではストリー
トパフォーマンスを展開。



1998

「三色旗はためいて100年 終わらない夢、
そのときめき」

三色旗はためいて、の大合唱。終わらない夢コンサート
では谷村新司とMAXが出演。「出張!なんでも鑑定団」も。



1999

「慶應ボーイズ&ガールズ独立自尊100年」

広末涼子、加藤登紀子に慶應女子高1年の未来玲可が
参加したコンサート。福引ではオークションが行われた。



2000

「慶應ミレニアム～つどえ、若き血に燃ゆ
るもの～」

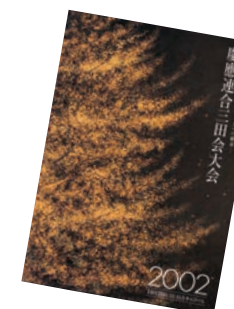
21世紀まで78日。衆議議員橋本龍太郎登場。記念
館では加山雄三と山下徹大、会堂では笈田敏夫と大橋
節夫がコンサート。ラグビー慶早戦も目玉に。



2001

「独立自尊新世紀」

福澤諭吉先生が「独立自尊迎新世紀」と揮毫して
100年。インターネットで大会の模様を逐一中継。日
本各地と世界から80の地域三田会が参加した。



2002

「三田会命名100年～あしたへの継承～」

未来を考えるシンポジウム。セッションは鳥山雄司と
和泉宏隆。ホンダのASIMOもやってきた。千住博の「大
いちょう」の絵がプログラムの表紙を飾った。



2003

「三色旗のもとに」

失われた10年と国際化を考える大会。記念館では、
千住明プロデュースで千住真理子がバイオリンを奏で
た。司会は紺野美佐子。



2004

「日吉開設70年 今こそ独立自尊」

独立自尊の意味を改めて噛み締めた。中村雅俊と松
任谷正隆、三田会会員バンドのジョイントライブ。理工
学部同窓会と共に坂村健の特別講演会開催。

慶應義塾塾歌

富田正文 作詞
信時潔 作曲

一、見よ
風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇あり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應

二、往け
涯なきこの道を
究めていよ、遠くとも
わが手に執れる炬火は
叡智の光あきらかに
ゆくて正しく照らすなり
往かんかな この道を
遠く遙けく往かんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應

三、起て
日はめぐる丘の上
春秋ふかめ揺ぎなき
学びの城を承け嗣ぎて
執る筆かざすわが額の
徽章の誉 世に布かん
生きんかな この丘に
高く新たに生きんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應